

高志高校入学予定の皆さんへ

1か月後に高校生、そして3年後に大学生となる皆さんに、数学、理科、読書などに関わるメッセージをお送りします。いずれも「宿題」や「課題」ではなく、不意に訪れた長期の休みの間に、1か月後、3年後のステップのために少しでも有意義に過ごしてほしいと思い提案するものです。決して皆さんに「押し付けるもの」でも、「与えるもの」でもありません。時間の使い方を考える際のヒントにしてください。

It depends on you !

まずは数学。自主的に取り組む課題として、既にサクシードやチャートが出ています。この中には基礎的なものから大学入試の過去問まで幅広いレベルの良問がたくさんあります。必修の課題ではありませんが、チャレンジしてみてください。

さらに、私から数学の先生方をお願いして、皆さんへのプレゼントを用意してもらいました。今年のセンター試験や東大・京大の二次試験の中から、皆さんがこれまでに習った知識で解ける問題を選んでいきます。各問題に記載した難易度は高校3年生を念頭に置いたものなので、中学生にとってはいずれも難問です。じっ~くりとよく考えて解いてみてください。

次に理科。ホームページに掲載済みなので、既に知っている人もいます。理科の先生方が皆さんに「徹底的に考えてみる」とこと、「学びを深める」とことの2つを提案しています。今回の思考を4月以降さらに発展させて、SSHなどにつなげていってはどうか。

なお、こうした思考は、自然科学に限らず社会科学や人文科学にも言えること。つまり、理科だけでなく全ての教科・科目に共通しており、さらに中高に限らず、将来にわたって関わり続けます。

最後に読書についてです。先生方が中学生の皆さんに勧めたい図書を、3月16日にホームページに掲載する予定です。これほどのまとまった時間がとれるのは、中高生ではおそらく最初で最後の大きなチャンスです。普段は手に取らないような色々なジャンルの本に出会ってください。

3月19日は高志高校入学予定者登校日です。中学校卒業式の前ですが、高校の教科書を一式受け取るなど、実質的には高校生としての一歩が始まるタイミングです。この日から入学式まで3週間。新入生の皆さんへの課題は、「入学式までの心得と準備」に記載されていますが、「指示のないことは行わない」と捉えるのではなく、手元に届いた教科書や教材について、本格的に学校生活が始まるまでの3週間に、どのような準備ができるか各自で考えてください。

以上、1か月後の自分、3年後の自分をイメージしての、この1か月間の過ごし方を提案してきましたが、家族と過ごす貴重な時間でもあります。兄弟姉妹のために自分ができること、祖父母や父母のためにできることにも目を向けてみてください。

限られた時間を、将来の自分自身への投資として、また、毎日お世話になっている家族への感謝の時間として捉えて、スティーブン・R・コヴィ博士風に言えば「緊急ではないが、重要なこと」に没頭する時間として活用してくれたら嬉しいです。

次に皆さんと会うのは3月24日の卒業式ですね。高志中学校の校長として皆さんを送り出すとともに、高志高校の副校長として新たに皆さんを受け入れることとなります。両方の心の準備を整えて、卒業式を迎えたいと思います。

皆さんも、中学生として巣立っていく気持ちと、高校生として入学する心の準備を整え、覚悟を決めて来てください。

令和2年3月13日

高志中学校校長

高志高校副校長

山川満寛